

ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線

第13回 三者協議 ニュース

このニュースは、ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線を今後も持続可能な路線とすることを目標に、「住民」「奈良交通」「生駒市」の三者で利用促進に向けた話し合いを行った内容をお知らせするものです。

ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線の利用促進に向けて、三者協議を休止した後の利用促進の方向性について、意見やアイデアを参加者全員で話し合いました。

【開催概要】

日 時: 令和7年11月21日(金) 19:00~20:30

場 所: 生駒市図書館

参加者: 8名(ひかりが丘1名、あすか野7名)

【今回のプログラム】

1. 奈良交通の利用状況及び収支状況の共有
2. 利用促進の取組状況の共有
3. 話し合い①(三者協議休止後の利用促進の方向性)
4. 話し合い②(利用促進に関するテーマごとの協議 ※前回の続き)
⇒話し合い①を重点的に実施したため、当日は実施せず
5. 終わりに



当日の様子

三者協議を休止した後の利用促進の方向性について話し合いました！

- ・ 令和4年に奈良交通から提案された市内バス路線の廃止・見直しの提案については、令和6年に市内バス路線全体の収支均衡を前提に、運行の継続が決定しているため、これまで定期的に開催してきたひかりが丘住宅線・生駒ニュータウン線の三者協議は休止します。
- ・ 市内バス路線全体の収支均衡に向けて、路線を限定したこれまでの三者協議に代わって、市内バス路線のすべての沿線で住民とともに取り組む利用促進を生駒市として継続していきます。
- ・ 将来的に赤字額が増えてしまい、改めて奈良交通から市内バス路線の廃止・見直しの提案があった場合には、その該当路線の関係地域において三者協議の再開や新たな立ち上げを検討します。
- ・ ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線沿線住民の皆さまの思いを継続していく方法(今後の利用促進の方向性)を、以下のとおり話し合いました。

「今後の利用促進の方向性」に関する主なご意見


住民の主な意見及び質問	生駒市及び奈良交通の回答
◇ 市の魅力向上には、公共交通による移動手段の確保が大事。市も利用促進を頑張る必要がある。 ◇ 市が主導して利用促進に取り組む必要がある。	➤ 市が主導して住民との話し合いの場を開催する姿勢が大事である と認識している。 ➤ 今年の三者協議で 未協議の利用促進テーマについては今年度中に改めて話し合いの場を設ける 。
◇ 話し合いの内容が、利用促進の取組みに反映されるのか不安。	➤ 開催形式に関わらず、住民と市で話し合った内容は、必要に応じて協議会に報告して対応する。
◇ 地域によっては、自治会中心で利用促進に取り組み、そこに市を呼ぶ形で進めることが可能。 ◇ 自治会長や役員は毎年変わるので、問題意識を持って取組みを続けられるか不安。	➤ 自治会だけでなく、自治会以外の団体にも、今後集まりに市が参加して意識啓発と利用促進に取り組みたいと考えている。
◇ 沿線住民の危機感が無くならないように、日頃から意識醸成に取り組む必要がある。 ◇ 色々な方が話し合いに参加しやすいように、協議テーマやターゲットを設定した方がよい。	➤ 今後も住民とともに取り組む利用促進の場を設けて、公共交通の利用意識醸成に努めていく。

「今後の利用促進の方向性」以外に関する主なご質問やご意見

三者協議の休止の経緯や理由について

住民の主な意見及び質問	生駒市及び奈良交通の回答
◇ 休止となった経緯や理由を知りたい。	➢ 以下の経緯・理由等から総合的に判断した。 <ul style="list-style-type: none">・ 市内路線全体の収支均衡を条件に、当初の目標である運行継続は達成。・ 市内路線全体の収支均衡に向けて、今後ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線といった特定のバス路線にこだわらず、市内路線全体を対象にしてより利用促進に特化した場を開催していきたい
◇ 事前に共有してほしかった。 ◇ 参加者の意見は聞いたのか。	➢ 令和7年度第2回協議会において、北田原線の三者協議メンバーである協議会委員の意見も聞いた上で、三者協議の休止を確認した。

利用促進の取組みについて

住民の主な意見及び質問	生駒市及び奈良交通の回答
◇ これまでに市はどんなことに取り組んできたのか。	➢ バス運賃100円 DAY の開催やいきいき百歳体操での利用促進活動等、幅広く取り組んでおり、取組内容はその都度協議会で報告している。
◇ ターゲットの明確化やハード面の取組みが必要。	➢ ハード面の取組みとして、富雄庄田線を対象とした利便増進実施計画策定と、それに伴う路線再編を実施した。
◇ 子どもに対する利用促進の取組みは何をしているのか。	➢ 【市】生駒北小学校を対象とした出前授業を令和6年度から実施。 ➢ 【奈良交通】奈良北高校の入学説明会で、通学定期券について毎年説明実施。
◇ 地域活動応援補助金「まちのわ」はどういうものか。	➢ 生駒市内の団体の活動に対する補助金であり、自治会の活動は対象外。詳細は、生駒市HPに掲載。—————→ 

奈良交通への支援・補助について

住民の主な意見及び質問	生駒市及び奈良交通の回答
◇ 「市と奈良交通の連携・協力に関する協定」はどんな状況か。	➢ 令和8年度から国の補助金も活用し、市から奈良交通へ財政支援を実施予定。 ➢ 市内路線の運行継続に向けて、市と奈良交通で協定に基づく協議を継続する。
◇ 現在の協議対象路線は、今後も継続されるのか。	➢ 運行継続の前提である市内路線全体での収支均衡が達成されない場合、見直しが必要となり、収支率が良くない路線が優先される可能性は高い。
◇ 富雄庄田線には補助金が出るのに、ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線にはなぜ補助金が出ないのか。	➢ 以下の理由で、富雄庄田線に対して補助を実施している。 <ul style="list-style-type: none">・ 提示された案(学研北生駒駅以北の廃止)が、市民生活への影響が最も大きかった。・ 富雄庄田線と市内路線全体の赤字額がほぼ同額(協議時点)。 富雄庄田線は国の補助対象路線であり、国の補助と合わせて市が財政支援することで、市内全体での収支均衡を達成可能(富雄庄田線だけでなく、市内路線全体の運行継続をするための補助である)。

今後について

現在の形で開催する三者協議は今回で休止しますが、**今後は自治会の集まり等に市の職員がお伺いし、より地域に密着した利用促進の取組みを実施予定**です。また、今年の三者協議で未協議のテーマ(①問題意識をもってもらうためには、②寄付を集めるには、③運賃割引による利用促進、④バスマップの作成、⑤利用状況を知ってもらうためには)について、以下のとおり**改めて話し合いの続きを実施**します。

開催日時・場所のお知らせ

1月20日(火)19:00 生駒市図書会館

↓ 上記の集まりに参加を希望される場合や、別途相談したいことが出てきた場合は、以下の連絡先までご連絡ください!!

連絡先: 生駒市 総務部 防犯交通対策課
TEL 0743-74-1111 FAX 0743-74-1196

三者協議について
HPは
こちらから→

